

# 初めての 決算審査に臨む

—コロナ禍明けと市長交代の  
2023(令和5)年度予算執行を検証—



## 決算特別委員として

予算審査の3月議会に対して、決算審査の9月議会を迎えました。各会派で若手議員に委員を経験させようとの判断からか、決算特別委員10名のうち自民・立憲・共産・維新の4会派から私を含めて4名の新人が委員に選ばれました。

## 決算審査で分かった 市政の課題—総論

5日間の審査をつうじて市政の課題が見えてきました。まず総論として3点が挙げられます。

### 1. 職員の知見を活かす

今回の監査意見の踏み込んだ内容に注目しました。「基礎的知識の定着と知見の承継について」との項が立てられ、臨時会での追認議決に至った予定価格2,000万円以上の教師用指導書の買入れについて、その背景が分析されています。

そこでは研修や引継ぎで学んだ知識を日常業務の実践で定着させること、経験豊富な職員の知見を活かすことが課題と指摘されました。答弁では「勘所」との言葉も使われましたが、伝票発行などの業務が会計年度

任用職員によって担われ、常勤職員が知識を実践で定着させる機会が少ないのではと印象も受けました。

市長から定期監査を含めて監査委員の指摘事項を主管者会議や部課長会議で共有し、自らを先頭に改善を徹底するとの決意が示されたので、今後の取り組みを注視します。

### 2. 会計年度任用職員の待遇改善

各会派が会計年度任用職員の報酬や休暇を取り上げました。再任用職員とのバランスや報酬月額について説明がありましたが、多摩26市で最も良好な財政状況にあること、人口が増えつづけていることを考えると、待遇改善は急務です。

優秀な人材が他の自治体に移ればそれだけ市民福祉が低下します。執行部の答弁からもターニングポイントとの認識は感じられたので、設置される庁内チームで勤勉手当など改善すべき点を整理し、可能な点から実施に移すよう提案しました。

### 3. 議会と執行部の情報共有

要求資料から判明した市内保育園での事案をめぐる、議会と執行部の情報共有のあり方です。私たちは二元代表制の一翼として市政への責任を担っているため、今後は情報を共有することで市民福祉を向上していきたいと考えます。市長の答弁で今

後の改善が約束されました。

## 決算審査で分かった 市政の課題—各論

1. 芸能劇場など3施設の次期指定管理者が、公募によって従来の財政援助出資団体から初めて民間企業に交代することを受けて、指定管理者の公募と財政援助出資団体の指導監督が両立するのか質しました。現状ではあと2施設の公募しか決まっていませんが、公募の拡大には議論が必要と感じました。
2. 住民投票制度の議論凍結について長期計画・第二次調整計画の見直し対象としなかった理由を伺いました。見直し対象とすること自体が議論を惹起するからとの答弁でしたが、このことで調整計画の「住民投票条例の制定を目指す」との文言は変わらないことを確認しました。

## すべての決算を認定

私たちはすべての決算の認定に賛成し、一般会計、国保・後期高齢者医療・介護保険については賛成多数で、水道事業・下水道事業については全会一致で認定されました。



## 一般質問

### 平和施策

[菅] 武蔵野空襲等の遺物の収集・活用について、①ふるさと歴史館との連携や研究者の協力による、収集基準の明確化などに着手しているか。②民間所有の遺物の目録化や、さらに広く市が借り受けての展示など活用への見解は。

[小美濃市長] ①基準やその後の保存、活用等について検討する。②夏季平和事業の際、市民が所有する鉄かぶとや爆弾の破片などを実際に触れる機会を設けた。目録作成に取り組む市民団体との連携や、遺物の常設的な展示も検討する。

[菅] 長崎への「青少年平和交流派遣事業」の定期化について、派遣中高生のフォローアップや今後の予定を含めて見解は。

[小美濃] 平和施策全体のバランスも考えつつ検討する。

[コメント] 今年11月の中島飛行機初空襲80年、来年1月は平和首長会議国内加盟都市会議総会が武蔵野市で開催されるため、具体的な取り組みを尋ねました。「青少年平和交流派遣事業」はオンラインを含めた定期化を要望しました。

### 市立小・中学校のプール施設の在り方

[菅] 学校の屋外プールの設置率は、近年大きく減少しており、多摩26市中11市が民間や市営の屋内プールで水泳指導を実施しているが、武蔵野市は2020年の学校施設整備基本計画で「原則として全校に設置するが、校

地の条件により、学校外施設の活用、複数校での共同利用および地域住民との共同利用(複合化・多機能化)を検討する」方針である。

そこで①校地の条件とともに、児童生徒の安全確保の観点から「気候条件」を考慮することは、②五小と井之頭小の仮設校舎中の代替プールについて具体的な施設や時期は決まっているか。③両校をモデルに、移動をめぐるバス乗降場所の確保、低学年の所要時間などを検証し、次の学校改築計画に反映することは。

[教育部長] ①暑さや寒さなど、児童生徒の身体はもちろん、施設面の安全性の確保が学習効果のある指導を行う上で重要と考える。②五小は6～9月で水泳指導を実施予定。1～3年生が関前南小、4～6年生が五中の活用を検討。井之頭小はこれから検討する。③今後の改築においても、五小、井之頭小の検討で得られた知見を踏まえ、改築懇談会等で教員、保護者、地域等の様々な方からのご意見を聴きながら検討を進める。

[菅] ①民間プールの活用や新たな温水の共同利用プール整備などはどうか。②施設整備にかかわるため市長部局と教育委員会の連携が不可欠だが市長の見解は。

[教育部長] ①現段階では、プールまでの移動及び安全管理に係る児童生徒と教員の負担から難しい。

[小美濃] ②屋外プールは、近年の酷暑の中で、暑いからプールに入るといような常識は少し転換しなければいけない。まずは、今ある資源をどう有効活用して屋外プールについて考えていく段階とと思っているので、学校の

教育としての水泳指導の在り方等々、総合教育会議等々でも議論しながら研究したい。

[コメント] 昨今の酷暑を考えると議論の前提が刻々と変化しているので、ひきつづき市営や民間の屋内温水プールでの試行による検証やそれにもとづく議論を求めています。

### 不登校への対応

[菅] 不登校によって直面する生活や学習における「不都合」を取り除くため、①2学期から桜堤調理場での給食提供が始まるが、不登校児童生徒へどう周知しているか。②不登校児童生徒は学校外で健康診断を受けられるか。あわせて受診の有無を確認しているか。③市のサイトでは、民間を含む「居場所」や「学び場」を紹介しないか。

[教育部長] ①校支援というアプリの保護者連絡帳機能を使って保護者に周知する。スクールソーシャルワーカーを通じた直接周知や、チャレンジルーム、むさしのクレスコーレにも周知する。②スクールソーシャルワーカーが市役所で心臓健診に同行支援している。

[小美濃] ③民間事業者を含めた子どもの学習の場や、自由に過ごす場、子どもがご飯を食べられる場について掲載した「むさしの子ども応援ブック」として市のホームページで情報提供している。

[コメント] 健診を受診していない児童生徒を把握して、保健センターでの健診などで対応できないか検討してほしいです。

## 総務委員会での議案・行政報告

スイングホールのグランドピアノをイタリア「ファツィオリ」製に更新するとの買入れ議案について、6月議会で継続審査となった後、スイングや市民文化会館、ファツィオリ社製ピアノを置く江東区の視察を踏まえて、8月の閉会中審査で選考委員会設置や保管庫整備など課題を指摘。市長から今後の課題として受け止める旨の答弁があり議案に賛成し、可決しました。

そのスイングホールと芸能劇場、かたらいの道市民スペースの2025～29年度の指定管理者の指定議案について質疑しました。初めての公募の結果、従来の文化生涯学習事業団から民間企業へと変更になったもので、予約システムが事業団とは別になるなど、利便性の点から課題が残るほか、財政援助出資団体の指導監督との両立にも懸念を感じました。

菅 源太郎

市政報告会

を行います!

10月12日(土)

参加  
無料 10:00~11:30

かたらいの道  
市民スペース  
武蔵野市中町1-11-16